

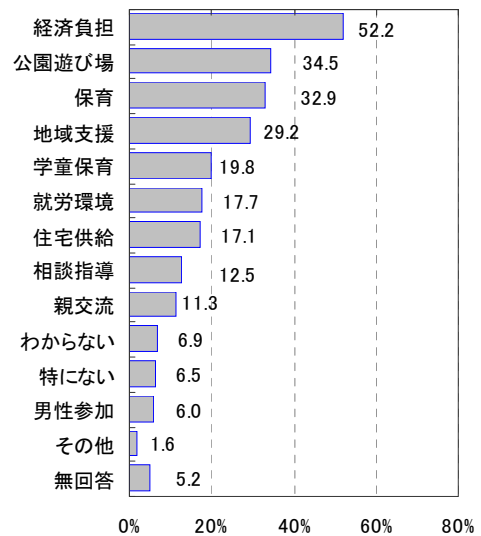
☆少子高齢化社会について

【問9】あなたは、子育てに対する支援策として今後はどのようなことに力を注ぐべきだと思いますか。
(複数回答)

子育てに対する支援策の順位は、下表のようになりました。その中では「出産、育児、保育、教育などの経済的負担の軽減」との回答が263人で最も多く、率にして52.2%で過半数を超えています。

順位	項目	短縮版	数	%
1	出産、育児、保育、教育などの経済的負担の軽減	経済的負担	263	52.2
2	安心して子どもが遊べる公園や遊び場の充実	公園遊び場	174	34.5
3	保育時間の延長や低年齢児の受入など、保育サービスの充実	保育	166	32.9
4	地域で子育てを助け合える支援体制づくり	地域支援	147	29.2
5	小学校などの学童保育の充実	学童保育	100	19.8
6	労働時間の短縮や育児休暇の普及など、雇用労働条件の改善	就労環境	89	17.7
7	子どもを産み、育てやすい住宅の供給	住宅供給	86	17.1
8	出産や子育てに関する相談指導の充実	相談指導	63	12.5
9	子育て中の親同士が交流できる機会の充実	親交流	57	11.3
10	男性(夫)の育児や家事への参加促進	男性参加	30	6.0

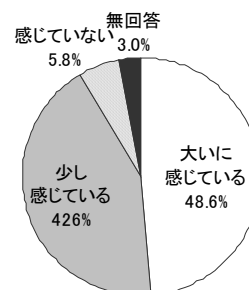
順位	項目	数	%
1	経済的負担	263	52.2
2	公園遊び場	174	34.5
3	保育	166	32.9
4	地域支援	147	29.2
5	学童保育	100	19.8
6	就労環境	89	17.7
7	住宅供給	86	17.1
8	相談指導	63	12.5
9	親交流	57	11.3
10	わからない	35	6.9
11	特にない	33	6.5
12	男性参加	30	6.0
13	その他	8	1.6
	無回答	26	5.2
	全体	504	—



【問 10】あなたは、老後（または現在の老後生活）に不安を感じていますか。（択一）

老後に不安を感じている方は、「大いに感じている」が245人（48.6%）、「少し感じている」が215人（42.6%）で合計460人（91.3%）となり、一方老後に不安のない方はわずか29人で5.8%となっています。

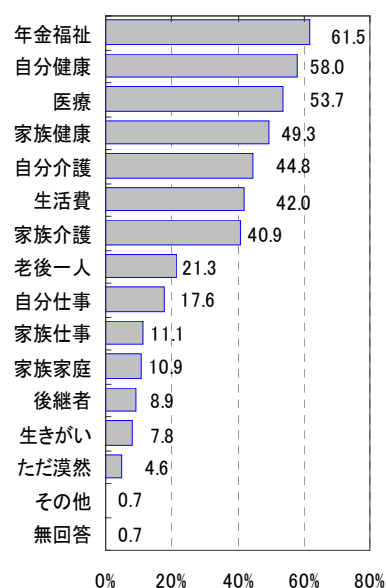
順位	項目	数	%
1	大いに感じている	245	48.6
2	少し感じている	215	42.6
3	感じていない	29	5.8
	無回答	15	3.0
	合計	504	100.0



【問 10-①】 前問【問 10】で、1または2に○印をつけられた方におたずねします。
どのようなことを不安に思いますか。（複数回答）

不安に思うことは、「年金や福祉、介護保険のこと」（61.5%）が最も高く、次いで「自分の健康」（58.0%）「医療や医療費」（53.7%）、「家族の健康」（49.3%）、「自分の看護・介護」（44.8%）「生活費」（42.0%）、「家族の看護・介護」（40.9%）などの順となりました。

順位	項目	短縮版	数	%
1	年金や福祉、介護保険のこと	年金福祉	283	61.5
2	自分の健康	自分健康	267	58.0
3	医療や医療費のこと	医療	247	53.7
4	家族の健康	家族健康	227	49.3
5	自分の看護・介護	自分介護	206	44.8
6	生活費のこと	生活費	193	42.0
7	家族の看護・介護	家族介護	188	40.9
8	老後、一人になってしまうこと	老後一人	98	21.3
9	自分の仕事	自分仕事	81	17.6
10	家族の仕事	家族仕事	51	11.1
11	家族・家庭内のこと	家族家庭	50	10.9
12	後継者のこと	後継者	41	8.9
13	生きがいや趣味のこと	生きがい	36	7.8
14	ただ漠然と	ただ漠然	21	4.6



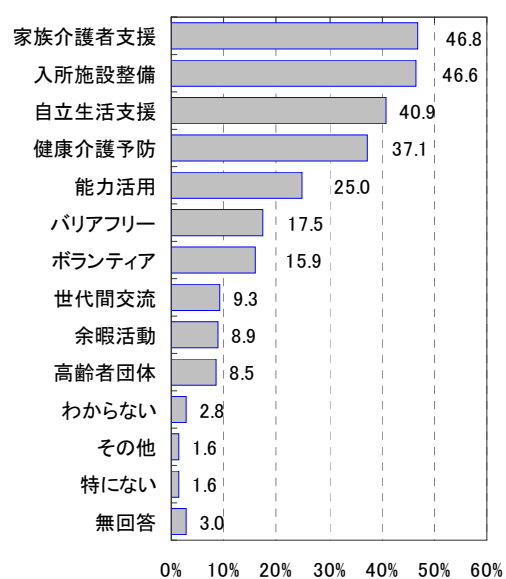
【問 11】 あなたは、高齢者の福祉と生きがいを高めていくために、今後どのようなことに力を注ぐべきですか。（複数回答）

高齢者の福祉と生きがい対策は、下表のようなアンケート結果となりました。

そこでは、「介護家族に対する支援」（46.8%）と「入所施設の整備」（46.6%）に加え、「自立生活に対する支援の充実」（40.6%）への意向が強くなっています。

順位	項目	短縮版	数	%
1	在宅の要介護者を介護する家族に対する支援(家族の在宅介護の負担軽減)	家族介護者支援	236	46.8
2	老人ホームなど入所施設の整備	入所施設整備	235	46.6
3	老人世帯などの自立生活に対する支援の充実	自立生活支援	206	40.9
4	高齢者向けの医療や保健対策(健康づくりや介護予防など)の充実	健康介護予防	187	37.1
5	高齢者の能力を生かせる仕事(働く場)やボランティア活動の充実	能力活用	126	25.0
6	高齢者向けの住宅や年齢・障がいに対応した地域環境の整備(段差の解消・手すりの設置など)	バリアフリー	88	17.5
7	高齢社会を支えるボランティアの確保、育成	ボランティア	80	15.9
8	高齢者と幼児、青少年などのふれあい交流の促進	世代間交流	47	9.3
9	レクリエーションや学習・趣味活動など高齢者の余暇の充実	余暇活動	45	8.9
10	老人クラブなど高齢者の組織、活動の充実	高齢者団体	43	8.5

順位	項目	数	%
1	家族介護者支援	236	46.8
2	入所施設整備	235	46.6
3	自立生活支援	206	40.9
4	健康介護予防	187	37.1
5	能力活用	126	25.0
6	バリアフリー	88	17.5
7	ボランティア	80	15.9
8	世代間交流	47	9.3
9	余暇活動	45	8.9
10	高齢者団体	43	8.5
11	わからない	14	2.8
12	その他	8	1.6
12	特にない	8	1.6
	無回答	15	3.0
	全体	504	—

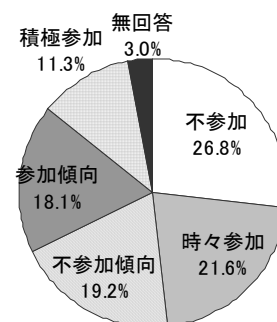


☆コミュニティ、住民活動について

【問 12】あなたは、近年、地域や各種団体・グループなどの活動や行事にどの程度参加されていますか。（択一）

地域や団体活動等の参加状況は「まったく参加していない」（不参加）が 135 人で最も多く、率にして 26.8%を占めますが、「積極的に参加」「ときどき参加」「どちらかといえば参加」をあわせた『参加』は 257 人、率にして 51.0%となります。また一方の「まったく不参加」と「どちらかといえば不参加」をあわせた『不参加』は 232 人、率にして 46.0%となりますので、参加状況は「参加」と「不参加」がほぼ半々に分かれたといえます。

順位	項目	短縮版	数	%
1	まったく参加していない	不参加	135	26.8
2	ときどき参加している	時々参加	109	21.6
3	どちらかといえば参加していない	不参加傾向	97	19.2
4	どちらかといえば参加している	参加傾向	91	18.1
5	積極的に参加している	積極参加	57	11.3



ブロック別

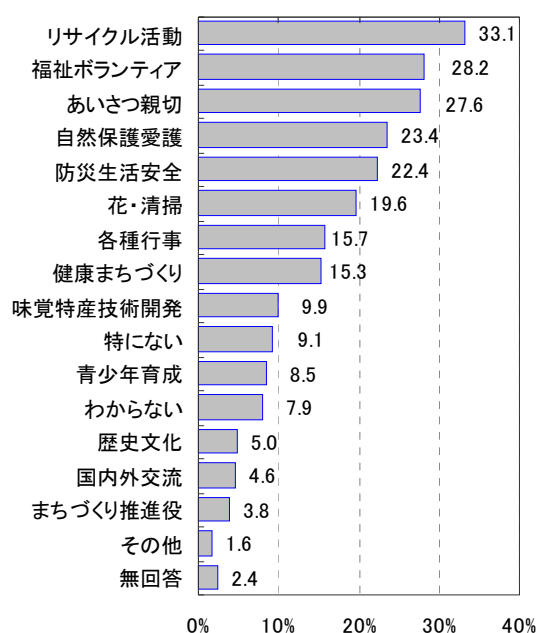
順位	項目	数	%
1	参加	257	51.0
2	不参加	232	46.0
	無回答	15	3.0
	合計	504	100.0

【問 13】これからのまちづくりには、今まで以上に町民の皆さんの参加が必要となります。あなたは、どのような活動に参加したい（できる）と思いますか。（複数回答）

まちづくり参加活動の選択肢（メニュー）は、以下の 13 種類からなります。各項目に対応して短縮版を表示しています。また、集計分析のために 7 つの領域（環境保全・福祉・教育文化・保健・コミュニティ・交流・産業・まちづくり）を設定しました。その結果は次のとおりです。

順位	項目	短縮版	数	%
1	資源のムダをなくし環境を守る《リサイクル活動や省資源・温暖化防止活動》	リサイクル活動	167	33.1
2	高齢者や困っている人たちへの《福祉ボランティア活動》	福祉ボランティア	142	28.2
3	あいさつやもてなし、親切などを心がける《明るいまちづくり活動》	あいさつ親切	139	27.6
4	地域の自然を守り育てる《自然保護・愛護活動》	自然保護活動	118	23.4
5	安全に暮らせるまちをめざす《消防・防災・交通安全・防犯活動》	防災生活安全	113	22.4
6	美しいまちをつくるための《花いっぱい活動や清掃活動》	花・清掃	99	19.6
7	各種イベントや祭り、文化祭、体育祭など《町や地区の各種行事》	各種行事	79	15.7
8	保健事業やスポーツ活動への参加・協力など《健康なまちづくり活動》	健康まちづくり	77	15.3
9	味覚・特産品の研究開発や産業技術の開発など《特産開発、技術研究活動》	味覚特産技術開発	50	9.9
10	特にない	特にない	46	9.1
11	青少年の健全育成を目的とした《青少年育成活動》	青少年育成	43	8.5
12	わからない	わからない	40	7.9
13	郷土の歴史や文化を学び、後世に伝える《歴史文化活動》	歴史文化	25	5.0
14	体験活動の指導やホームステイ(民間宿泊)の受け入れなど《国内外との交流活動》	国内外交流	23	4.6
15	まちづくりの企画・研究やリーダーとしての活動など《まちづくりの推進役》	まちづくり推進役	19	3.8

順位	項目	数	%
1	リサイクル活動	167	33.1
2	福祉ボランティア	142	28.2
3	あいさつ親切	139	27.6
4	自然保護活動	118	23.4
5	防災生活安全	113	22.4
6	花・清掃	99	19.6
7	各種行事	79	15.7
8	健康まちづくり	77	15.3
9	味覚特産技術開発	50	9.9
10	特にない	46	9.1
11	青少年育成	43	8.5
12	わからない	40	7.9
13	歴史文化	25	5.0
14	国内外交流	23	4.6
15	まちづくり推進役	19	3.8
16	その他	8	1.6
	無回答	12	2.4
	全 体	504	—



次に、まちづくり活動の領域別では、環境保全の分野への関心が高いためか、「環境保全」が76.2%で最も高く、次いで「コミュニティ」65.7%、「福祉」28.2%、「保健」15.3%、「教育文化」13.5%などの順となりました。

番号	項目	短縮版	領域
1	地域の自然を守り育てる《自然保護・愛護活動》	自然保護活動	環境保全
2	資源のムダをなくし環境を守る《リサイクル活動や省資源・温暖化防止活動》	リサイクル活動	
3	美しいまちをつくるための《花いっぱい活動や清掃活動》	花・清掃	
4	高齢者や困っている人々への《福祉ボランティア活動》	福祉ボランティア	福祉
5	郷土の歴史や文化を学び、後世に伝える《歴史文化活動》	歴史文化	教育文化
6	青少年の健全育成を目的とした《青少年育成活動》	青少年育成	
7	保健事業やスポーツ活動への参加・協力など《健康なまちづくり活動》	健康まちづくり	保健
8	安全に暮らせるまちをめざす《消防・防災・交通安全・防犯活動》	防災生活安全	コミュニティ
9	各種イベントや祭り、文化祭、体育祭など《町や地区の各種行事》	各種行事	
10	あいさつやもてなし、親切などを心がける《明るいまちづくり活動》	あいさつ親切	
11	体験活動の指導やホームステイ(民間宿泊)の受け入れなど《国内外との交流活動》	国内外交流	交流
12	味覚・特産品の研究開発や産業技術の開発など《特産開発、技術研究活動》	味覚特産技術開発	産業
13	まちづくりの企画・研究やリーダーとしての活動など《まちづくりの推進役》	まちづくり推進役	まちづくり

順位	項目	数	%
1	環境保全	384	76.2
2	コミュニティ	331	65.7
3	福祉	142	28.2
4	保健	77	15.3
5	教育文化	68	13.5
6	産業	50	9.9
7	特にない	46	9.1
9	わからない	40	7.9
10	交流	23	4.6
11	まちづくり	19	3.8
12	その他	8	1.6
	無回答	12	2.4
	全 体	504	—

☆行政運営について

【問 14】あなたは、町民の意見が町政（まちづくり）にどの程度反映されているとお感じでしょうか。（択一）

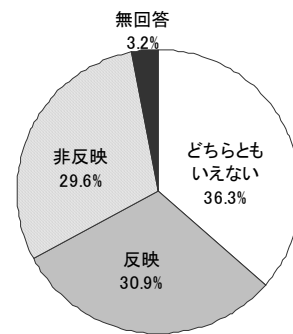
町民意見の反映については、反映または非反映の「どちらともいえない」との回答が183人で最も多く、率にして36.3%となりました。

次に「よく反映されている」と「ある程度反映されている」をあわせて『反映』とし、「あまり反映されていない」と「反映されていない」をあわせて『非反映』とすると、下表のように「どちらともいえない」36.3%をトップに、『反映』が30.9%、『非反映』が29.6%となり、『反映』がわずかに『非反映』を上回っています。

順位	項目	数	%
1	どちらともいえない	183	36.3
2	ある程度反映	134	26.6
3	あまり反映されていない	106	21.0
4	非反映	43	8.5
5	反映	22	4.4
	無回答	16	3.2
	合計	504	100.0

■ブロック別

順位	項目	数	%
1	どちらともいえない	183	36.3
2	反映	156	30.9
3	非反映	149	29.6
	無回答	16	3.2
	合計	504	100.0



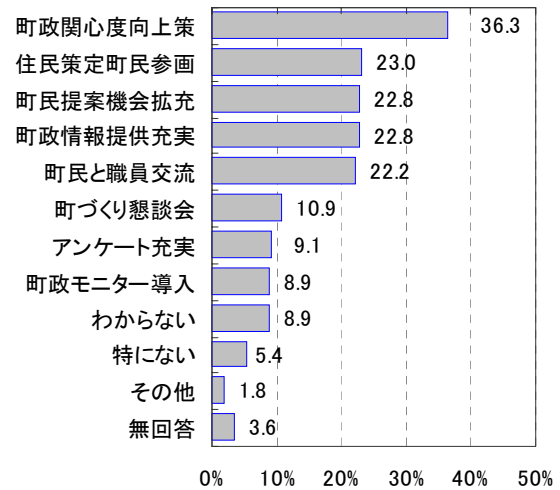
【問 15】今後、これまで以上に町民皆さんの意向を町政（まちづくり）に反映していくには、どのようにすれば良いと思いますか。（複数回答）

町民の意見を町政へ反映させるためには、以下のような方策があります。

最も回答が多かったのは「町政(まちづくり)への町民の関心がより高まるようにする」(町政関心度向上策)で36.3%、次いで「各種計画などをつくる際に、町民が参画する機会を増やす」(計画策定町民参画)が23.0%、「町民が意見を述べたり、提案を行う機会を増やす(多様化する)」(町民提案機会拡充)と「町政(まちづくり)に関する情報提供を充実する」(町政情報提供充実)が同率22.8%などの順となっています。

順位	項目	短縮版	数	%
1	町政(まちづくり)への町民の関心がより高まるようにする	町政関心度向上策	183	36.3
2	各種計画などをつくる際に、町民が参画する機会を増やす	計画策定町民参画	116	23.0
3	町民が意見を述べたり、提案を行う機会を増やす(多様化する)	町民提案機会拡充	115	22.8
4	町政(まちづくり)に関する情報提供を充実する	町政情報提供充実	115	22.8
5	普段から町民と職員が接する機会を増やす	町民と職員交流	112	22.2
6	町づくり懇談会などの回数を増やす(充実する)	町づくり懇談会	55	10.9
7	アンケートの回数を増やす(充実する)	アンケート充実	46	9.1
8	町政モニターの導入	町政モニター導入	45	8.9

順位	項目	数	%
1	町政関心度向上策	183	36.3
2	計画策定町民参画	116	23.0
3	町民提案機会拡充	115	22.8
3	町政情報提供充実	115	22.8
5	町民と職員交流	112	22.2
6	町づくり懇談会	55	10.9
7	アンケート充実	46	9.1
8	町政モニター導入	45	8.9
8	わからない	45	8.9
10	特にない	27	5.4
11	その他	9	1.8
	無回答	18	3.6
	全 体	504	—

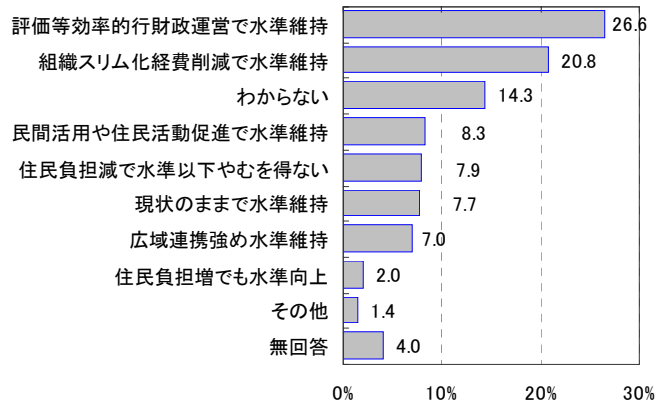


【問 16】 現在、町は人口の減少や基幹産業の低迷などから税収が落ち込み、国からの交付金なども減少しています。このような状況の中、町は平成20年度を始期とする『仁木町行財政構造改革プラン』を策定し、実行中ですが、今後の行政はどのように対応していくと良いと思いますか。（択一）

今後の行政運営については、「優先度・重要度が低い施策・事業の見直しと評価による効率的な行財政運営などで、サービス水準を維持する」との回答が134人で最も多く、率にして26.6%を占めています。次いで「行政組織のスリム化や人件費などの経費の削減などで、サービス水準を維持する」（20.8%）などとなっています。

順位	項目	短縮版	数	%
1	優先度・重要度が低い施策・事業の見直しと評価による効率的な行財政運営などで、サービス水準を維持する	評価等効率的行財政運営で水準維持	134	26.6
2	行政組織のスリム化や人件費などの経費の削減などで、サービス水準を維持する	組織スリム化経費削減で水準維持	105	20.8
3	わからない	わからない	72	14.3
4	民間企業の活用や住民組織・団体等の育成と活動促進により、サービスの提供者を多様化し、サービス水準を維持する	民間活用や住民活動促進で水準維持	42	8.3
5	住民負担を減らすことで、サービス水準が下がってもやむを得ない	住民負担減で水準以下やむを得ない	40	7.9
6	現状のまま、サービス水準を維持する	現状のまま水準維持	39	7.7
7	他市町村との広域的な連携を強めて、サービス水準を維持する	広域連携強め水準維持	35	7.0
8	税や公共料金などの住民負担を増やしても、サービス水準を維持・向上する	住民負担増でも水準向上	10	2.0

順位	項目	数	%
1	評価等効率的行財政運営で水準維持	134	26.6
2	組織スリム化経費削減で水準維持	105	20.8
3	わからない	72	14.3
4	民間活用や住民活動促進で水準維持	42	8.3
5	住民負担減で水準以下やむを得ない	40	7.9
6	現状のまま水準維持	39	7.7
7	広域連携強め水準維持	35	7.0
8	住民負担増でも水準向上	10	2.0
9	その他	7	1.4
	無回答	20	4.0
	合 計	504	100.0

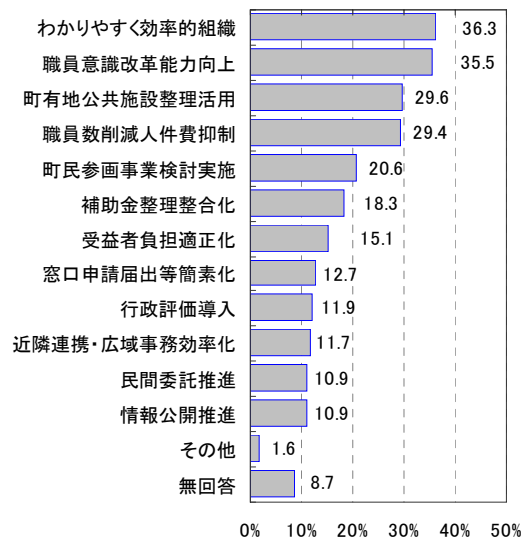


【問 17】あなたは、仁木町の行政改革を進めるうえで、重点をおくべき項目は何だと思えますか。
(複数回答)

行政改革を推進するためには、「町民にわかりやすく、効率的な組織・機構づくり」が36.3%で最も高く、次いで「職員の意識改革、能力向上(人材育成)」が35.5%、「町有地や公共施設の整理、合理化、有効活用」と「職員数の削減、人件費の抑制」が約30%などの順となっています。

順位	項目	短縮版	数	%
1	町民にわかりやすく、効率的な組織・機構づくり	わかりやすく効率的組織	183	36.3
2	職員の意識改革、能力向上(人材育成)	職員意識改革能力向上	179	35.5
3	町有地や公共施設の整理、合理化、有効活用	町有地公共施設整理活用	149	29.6
4	職員数の削減、人件費の抑制	職員数削減人件費抑制	148	29.4
5	町民参画による事業の検討、実施	町民参画事業検討実施	104	20.6
6	補助金などの整理、合理化	補助金整理整合化	92	18.3
7	使用料、手数料などの受益者負担(利用者の費用負担)の適正化	受益者負担適正化	76	15.1
8	窓口サービスの向上(申請・届出などの簡素化)	窓口申請届出等簡素化	64	12.7
9	行政評価の導入(費用対効果の分析、事前評価システムの導入など)	行政評価導入	60	11.9
10	近隣市町村との連携強化と効果的・効率的な広域連携事務の推進(広域連合など)	近隣連携・広域事務効率化	59	11.7
11	各種事務事業や公共施設運営などの民間委託の推進	民間委託推進	55	10.9
12	情報公開の推進	情報公開推進	55	10.9

順位	項目	数	%
1	わかりやすく効率的組織	183	36.3
2	職員意識改革能力向上	179	35.5
3	町有地公共施設整理活用	149	29.6
4	職員数削減人件費抑制	148	29.4
5	町民参画事業検討実施	104	20.6
6	補助金整理整合化	92	18.3
7	受益者負担適正化	76	15.1
8	窓口申請届出等簡素化	64	12.7
9	行政評価導入	60	11.9
10	近隣連携・広域事務効率化	59	11.7
11	民間委託推進	55	10.9
11	情報公開推進	55	10.9
13	その他	8	1.6
	無回答	44	8.7
	全体	504	—



【問 18】あなたが、「郷土 = 仁木町の誇り・宝」と思うもの、自慢するもの、来訪者を案内する場所、お土産として利用するものなどは何ですか。(択一)

(ア) 町内で案内する場所 (52 か所うち 6 か所)

順位	名 称	人数
1	フルーツパークにき	122
2	果樹園、観光農園	15
3	元気村	9
4	パークゴルフ場	8
5	ふれあい遊トピア公園	6
6	仁木町役場	6

(イ) お土産として利用するもの (80 品目のうち 12 品目)

順位	名 称	人数
1	くだもの	140
2	さくらんぼ	88
3	ぶどう	39
4	りんご	25
5	仁木ファームのシフォンケーキ	25
6	季節のくだもの	17
7	トマト	15
	トマトジュース	6
	ミニトマト	3
8	プルーン	14
9	農産物	14
10	ジャム	12
11	米(銀山米含む)	9
12	野菜	5

(ウ) 自然・景色 (77 か所のうち 4 か所)

順位	名 称	人数
1	余市川	33
2	フルーツパーク(フルーツパークから見る景色含む)	30
3	頂白山	8
4	果樹園(果樹畑)	11

(エ) 郷土芸能・文化 (20 品目のうち 3 品目)

順位	名 称	人数
1	阿波踊り	68
2	若鮎太鼓	17
3	よさこい	8

(オ) お祭り・イベント (33 種目のうち 4 種目)

順位	名 称	人数
1	うまいもんじゃ祭り	148
2	さくらんぼフェスティバル	90
3	盆おどろう会	15
4	ウィンターフェスティバル	5

(カ) 建築物・記念碑 (40 か所のうち 4 か所)

順位	名 称	人数
1	フルーツパークにき	20
2	仁木町役場	17
3	仁木神社	8
4	町民センター	5

(キ) 特産品 (49 品目のうち 9 品目)

順位	名 称	人数
1	さくらんぼ	117
2	果物	74
3	トマト(ミニトマト含む)	35
4	ぶどう	28
5	りんご	21
6	プルーン	15
6	米	15
8	農産物	5
9	野菜	4